

採択大学：岡山大学（強化を図る機能：①、②）

参画機関：筑波大学、東京大学、東京工業大学、山梨大学、大阪大学、山口大学、理化学研究所、自然科学研究機構、津山工業高等専門学校

取組内容の概要

地域と地球の未来を共創し、世界の革新の中核となる研究大学～持続可能な社会を実現させる10年構想～

不易流行の大学法人経営 ～社会変革の実現によるマルチステークホルダーのWell-being追及～

①卓越性の飛躍から世界的課題を解決する新技術創出

50年後、100年後のありたい未来：地球と生態系の健康（Planetary Health）の実現に向け、地球外活動も視野にいたれた、新たな知見と新技術開発を推進

高等先鋭研究院 先鋭研究群（研究特区）を選定：（第1弾）
植物・光エネルギー開発拠点

【10年後】「光合成の根幹をなすタンパク質の機構等」「植物の機構・構造・ゲノム情報」解明により、人工光合成の社会実装、クリーンエネルギー生産システムや極限環境下でも安定・高強度を保つ新素材開発を加速化

世界トップの研究者群（知の集積）とリソースの傾注により、研究界のトップサークルを先導し、地球規模の課題解決を図り、国際研究イニシアチブを獲得



イノベーションを支える強い基盤づくり：研究基盤の整備と高度専門人材の育成

③イノベーション創出の知と技のメッカとなる研究基盤整備（研究力強化・産業振興拠点）

- 先端分析計測設備・基盤設備の充実及び共用化の推進
 - クライオ電顕連携中四国NWを構築
 - 理研Spring-8のリモートアクセスステーション設置
 - 最先端設備の整備により大規模実験の事前実験拠点
 - 基盤設備の共用化促進（産業界の利用促進）
 - コアファンリティポータルによる研究設備のワンストップ利用
 - 事務処理DX化による業務削減
 - 総合技術部・技術職員の高度化
 - TCカレッジの受講によるテクニカルコンダクター(TO)認定者輩出促進（ALL-JAPANで技術人材の高度化・関係機関、企業等との頭脳循環）
 - 博士人材の積極登用（大学院修学支援制度による博士号取得促進）
 - プロジェクトマネジメント国際資格（PMP）取得促進
- ↑ **シナジー効果** ↓

④ 研究界の国際トップサークルを先導する研究者と知識を活用し社会を変革するナレッジワーカーの育成・輩出

- 複線型人事制度（複数キャリア）
- 研究マネジメント人材認定制度
- 事務職員の機能分化と高度化（博士号取得修学支援制度）
- 教員の機能分化と全体最適
- スーパーPI制度（優秀な若手研究者支援）
- 特区卓越研究者制度
- シニア・ミドルトップ研究者制度

②イノベーション創出によるWell-being社会の実現

【10年後】デジタルの力で人の持つ力を最大限活用し、医療制度と生活様式の変革を導く拠点
Community Health & Human Health 先導大学群の形成

DXを軸に産学官連携により誰一人取り残されないコミュニティを創生（国家戦略特区：デジタル田園健康特区を活用し、中山間地域の課題解決の全国展開）

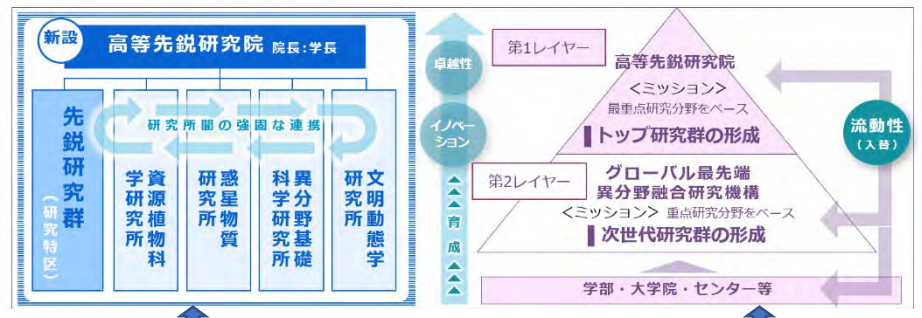


地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）

岡山大学長期ビジョン2050実現に向け研究力・イノベーション創出強化本部設置（迅速な意思決定・強固な教職協働・アジャイル）

卓越性からイノベーション創出、実績に応じた評価と流動性を兼ね備えた強化・育成システムを構築（R5.7~9）

外なる場に学内・学外のシンクタンクを融合させた拠点を形成
地域課題解決からイノベーション創出まで加速



研究マネジメントの総司令塔機能を強化（既存の研究推進機構と地域共創部門を統合）
R6.4「研究・イノベーション共創機構」設置

高等先鋭研究院 先鋭研究群（研究特区）の第1弾として、本学の最重点研究分野（植物科学・革新材料）を軸に、「植物・光エネルギー開発拠点」を選定。東京大学や理化学研究所と連携し高度な構造解析力を実現
単なる拠点組織の“箱”ではない生きたシステムの中で、世界トップ研究者を招へい、次世代PIや若手研究者を集積し、リソースを傾注することで、世界をけん引する新たな知見とイノベーション創出を加速させ、その仕組みを全体に波及させる

学内（多様な人材）

- ✓ **学都おかやま共創本部**
 - ・地域ニーズの窓口となり、学内外のコーディネートの役割を担う
 - ・地域とともに社会変革を目指す
- ✓ **おかやまDXコア**
 - ・DXをキーワードに学内外の多様な人材が融合する仕組みと場
 - ・DXSUN創設（R5.11）
 - ・県内企業DX推進

学外（広域連携・企業等）

- ✓ **共生型連合体**
- ✓ **国家戦略特区関連大学連携**（筑波大学・山梨大学・大阪大学）により、関連特区の医療面の規制緩和の推進、新医療技術開発・暮らし改革などを実現

（参画）津山工業高等専門学校

多様な人材の融合により、地域課題解決と革新的イノベーションを起こしWell-being社会を実現

研究力強化のハブ：研究基盤（設備とヒト）を充実しイノベーション創出のメッカ（集積拠点）を形成

人財戦略・既成概念打破できる学内組織体制を構築
他機関との人事交流等によるナレッジワーカー人財育成



新しい知見・イノベーション創出を支える強固な基盤を構築
理化学研究所 SPring-8・SACLA
地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）

TCカレッジを軸に
技術職員の高度化・次世代育成を推進

国内外研究機関

岡山大学強化本部に人事戦略部会を設置
人事戦略評価委員会等と連携し、PMノウハウ、人財育成・確保・活用等の制度を設計・展開

アカデミア以外の機関連携

- PMI日本支部（世界最大規模のPM組織）
本学はアカデックスポンサー。PMノウハウ共有・ブラッシュアップ
- 企業コンサル他

循環育成

URA等の研究マネジメント人材等活用・交流の促進

RUC Research University Consortium
「研究大学の山脈」の形成支援として、今後取組を他研究大学に広く展開（事務局：NINS）

幅広い視野と高度な知識により社会を変革するナレッジワーカーの育成

地域と地球の未来を共創し、世界の革新の中核となる研究大学～持続可能な社会を実現させる10年構想～



取組	2023-2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	実現したい未来
●取組1 卓越性の飛躍	<ul style="list-style-type: none"> ○高等先鋭研究院・先鋭研究群設置、研究特区制度開始 ○東京大学・理研との連携強化、共同研究促進 ○天然光合成・人工光合成分野体制強化 ○次世代若手研究者テニユア ○国内外・産業界等トップ研究者の招聘・確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○卓越研究者・先端設備 ○産学研究者の知の集積拠点（オープンラボ） ○次期研究群（拠点）の設置計画 ○クライオ電顕による光化学系IIタンパク質の構造分解能向上、研究の加速 	<ul style="list-style-type: none"> ○次世代若手研究者の育成 ○海外TOP研究者招聘による地域の国際頭脳循環 ○光化学系IIタンパク質の構造解明、光合成サイクルを超える高効率の人工光合成触媒を開発 ○人工光合成、有機太陽電池、蓄電池、超伝導体の性能向上新素材を開発 	<ul style="list-style-type: none"> ○ストラスブール大学国際共同研究立ち上げ ○新先鋭群（拠点）の設置 ○新たに開発した人工光合成触媒等をデバイスへ組み込み実証を開始 ○多様な環境頑健性を有する作物を創出 ○極限環境・地球外活動促進の産学官PFの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○卓越拠点の海外展開に向けた検討 ○技術連携NW（産学官）を構築し、技術人材の交流を加速 ○光合成水分解・酸素発生反応の機構解明、自然界モデル触媒・人工光合成の触媒開発 	<p>地球と生態系の健康（Planetary Health）の実現</p>
●取組2 イノベーション創出	<ul style="list-style-type: none"> ○学内のデジ田体制整備 ○共生型連合体（国家戦略特区関連大学群）の設置 ○特区間の産学官連携体制構築 ○自治体の枠を超えたデータ連携着手 ○遠隔採血の課題・規制整理 ○救急処置行為の実証実験 ○オープンイノベーションプログラム（農業・物流DX） 	<ul style="list-style-type: none"> ○データ連携に向け行政データのあり方検討 ○遠隔採血システム構築 ○妊産婦搬送、高齢者施設搬送等、現場・地域別ニーズ・課題把握 ○規制緩和に向け実証 ○連携大学・自治体等によるモデル事業拡大 ○AIソリューション、農業・林業のDX化等の開発着手 	<ul style="list-style-type: none"> ○共生連合体でデータシェアリングに係る外部提供マネジメント・セキュリティ確保等仕組み構築 ○吉備中央町での遠隔採血の実証実験開始 ○救急救命士の処置拡大（エコー検査）・普及 ○高品質ゲノムデータ蓄積活用システム化 	<ul style="list-style-type: none"> ○遠隔採血実証実験の特区間連携、関係省庁協議 ○救急DX・エコー検査国内普及30%、海外実証1件以上を目指す。 ○救急救命士の新たな業務拡大に向け協議 ○大学連携により、ゲノム創薬・人工知能を活用した機器開発 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治体での医療データ、病院での診療データを統合する「データ基盤連携」の暗号化データPF構築 ○遠隔採血実証自治体の増加、救急救命士の次なる業務拡大策定のための機器開発を産学で促進 ○ヘルスケアデータ、ゲノム解析、PHRのセキュア基盤構築・普及 	<p>デジタルの力と特区制度を活用し未来型医療制度と生活様式を体現（Community Health & Human Health）</p>
●取組3 研究環境整備・技術人材変革	<ul style="list-style-type: none"> ○クライオ電顕NW構築 ○コアファシリティ関連機関との連携体制強化 ○博士人材登用 ○SPring-8等リードステーション設置 ○複線型人事制度構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○先端設備メッカ（産学の集積拠点）確立 ○産業技術人材受入制度・技術職員民間出向等による頭脳循環を促進 ○TCカレッジ強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○全学共用の基盤設備の管理運営を技術職員へ完全移行 ○共用基盤設備の学外利用促進による収益確保強化（メンテナンス、更新コスト捻出） 	<ul style="list-style-type: none"> ○技術PMによる新技術や新装置の開発を実現 	<ul style="list-style-type: none"> ○イノベーション創出の知と技のメッカを確立（ソフト面） ○設備・技術と言え「総合技術部」を実現 	<p>卓越とイノベーションを支える研究基盤（設備とヒト）の高度化</p>
●取組4 マネジメント人材育成・強化	<ul style="list-style-type: none"> ○URA（研究ブレーン組織）の体制強化 ○複線型人事制度構築 ○教員の機能分化制度構築 ○スーパーPI制度構築 ○研究マネジメント人材認定制度確立 	<ul style="list-style-type: none"> ○研究マネジメント認定人材とURAとの協働 ○事務職員の大学院修士支援制度実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○URAの多面評価制度・スーパーPI業績評価 ※各事業の効果測定・検証 ○複線型人事制度を活用したモデルケース創出 ○教員の機能分化制度によるリソース最適化を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○複線型人事制度、教員の機能分化制度、研究マネジメント人材認定制度、URAの拡充に関する評価（学内・外部） 	<ul style="list-style-type: none"> ○研究マネジメント人材認定制度を他分野へ波及 ○複線型人事制度、教員の機能分化制度を活用したリソース最適化により、卓越性・イノベーション創出を一層強力に推進 	<p>これからの日本を支える地域中核・特色ある研究大学を実現</p>

岡山大学長期ビジョン2050 「地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学」

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）